

ニーズ調査結果報告書

仕事と介護の両立支援に取り組むため、全社員対象のニーズ調査を実施いたしました。

- 調査目的 : 社員の介護実態やニーズを知り、社内介護制度へ反映させるため
- 回答期間 : 平成 27 年 9 月 10 日 (木) ~ 9 月 28 日 (月)
- 回答人数 : 31 名

1. 現在/将来の介護状況・不安なこと

- (1) 平均年齢が 31 歳と若いこともあり、現在介護をしている社員は少ないが、約 7 割の社員が、「5 年以内に介護に携わる可能性がある」と回答した。
- (2) また、そのうちの 9 割が、介護に対して何かしらの不安を感じていることがわかった。

[不安を感じる具体的な要因]

◆ 1 位 介護に関する制度や仕組み、対処方法がわからなくて不安

- ・仕事を辞めずに介護と仕事を両立するための仕組みがわからない
- ・勤務先の介護支援制度がわからない
- ・公的介護制度の仕組みがわからない
- ・要介護者になった場合、どのような状態になるのか予想がつかず、漠然とした不安がある
- ・適切な介護サービスが受けられるがどうかわからない

◆ 2 位 仕事と両立できるかどうか不安

- ・介護休業を取得している人が職場にいない
- ・そもそも労働時間が長い
- ・介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てづらい
- ・介護休暇を取得すると収入が減る
- ・代替要員がおらず、介護のために仕事を休めない
- ・職場に、介護に関して相談する担当者がいない、もしくは知らない
- ・仕事と介護を両立すると、昇進、昇格に影響がある

◆ 3 位 家庭・家計に関する不安

- ・他に介護を分担してくれる家族がいない
- ・自分の貯蓄で支えていけるか不安

2. 介護制度について

- (3) 公的介護制度の社内認知度は低く、「あなたは公的介護制度の被保険者ですか」の質問には、6割が「わからない」と回答した。
- (4) 公的介護保険制度について何かしら知っている人は約4割で、「知っているものはない」と回答した人の方が多かった。
- (5) 地域包括センターについては、「知らない」と回答した人がもっとも多かった。次に、「名称は知っているが、利用方法は知らない」が続き、名称も利用方法も知っている人は、ごくわずかだった。

3. 仕事との両立・現在の職場環境について

- (6) 実際に介護をすることになった場合の働き方として、「介護休暇や時短勤務を利用しつつ、できるだけ普通に働きながら仕事と介護を両立する」と回答した人が最も多かった。さらに、介護休業や有給休暇を使いながら働き続けることを希望している人を足すとほとんどの人が仕事と介護を両立させたいと考えていることがわかった。
- (7) 介護休業に対する考えは、「介護休業期間は介護に専念するための期間である」と回答した人が最も多く、「仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である」と考えている人の倍の人数となった。

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である | 23% |
| 介護休業期間は介護に専念するための期間である | 45% |
| どちらともいえない | 32% |

- (8) 昨年と今年の有給休暇・夏季休暇の取得については、「希望通り取れる」・「大体希望通り取れる」と回答した人が約9割となり、ほぼ希望に沿って休みが取れていることがわかった。